

1) システムの名称 :

部門統合情報システム ProRad RIS (プロラドリス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

5. 画像検査系

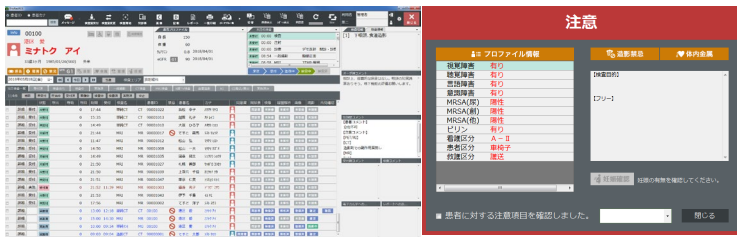
3) 特色 :

部門統合情報システム ProRad RIS は、線量情報やレポート、検像情報など、複数のシステムで個別に管理される情報を集約し、横断的に進捗を管理します。同意書確認や機器管理、各種統計出力などの部門業務にも対応しており、部門統合情報システムとして放射線だけでなく生理・内視鏡検査部門でも利用することができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

■安全かつ効率的な運用を実現する画面デザイン

電子カルテから eGFR、クレアチニンなどの検査結果を引用し、散乱しがちな患者情報を RIS 上に集約することで、見落としや見間違いを防止します。禁忌情報がある場合には、検査開始前にアラート画面を表示し注意喚起を行います。



■部門統合情報システムとして

放射線科での利用はもちろん、生理・内視鏡検査部門においても進捗管理やレポート作成、画像ファイリングに利用でき、システム導入にかかる費用を圧縮することができます。



■運用フロー例

検査オーダー

電子カルテで入力された検査目的やコメント、禁忌感染情報、入退院情報などの検査オーダーを受信し、検査や患者情報を管理します。

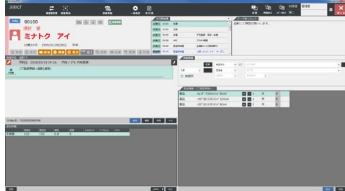


受付処理

バーコードによる受付を行い、患者・検査情報を確認します。受付時には受付票を出力することで、検査の運用を支援します。



検査実施



患者情報を大きく表示することで、禁忌感染情報や同意書の有無など、重要な情報を即座に確認できます。C-Scan 連携により同意書をダイレクトに確認できる他、検査機器と MWM 連携を行い、検査情報を連携します。ProRad RS と撮影指示情報を連携することで、検査前に RIS 画面で指示内容を確認することもできます。



実施情報入力・送信

電子カルテから受信した依頼内容を確認し実施情報を入力します。検査内容に応じて物品、フィルム、加算情報が初期表示されるので、必要な項目のみ入力し、電子カルテ、PACS、レポートシステムへ送信します。バーコード利用やマスタ登録により使用物品をスピーディーに入力できます。

読影・レポート作成

検査後、レポートシステムを利用してレポートを作成します。作成したレポートは電子カルテや RIS 画面で参照することができます。



■電子カルテ・外部システムとの連携

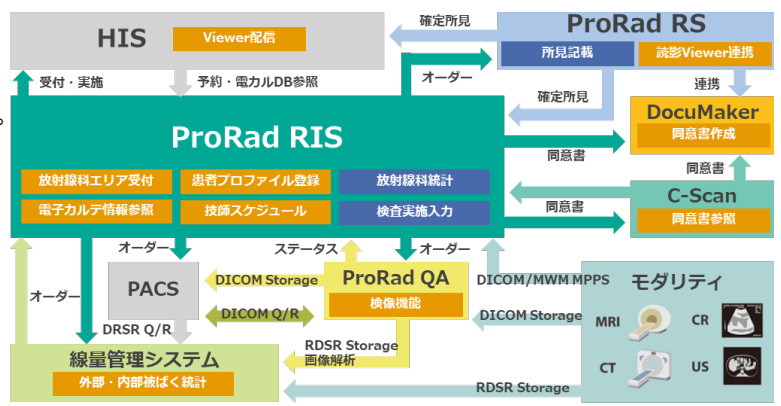
電子カルテだけでなくレポートシステムや線量管理システム、検像システムと連携し、検査や部門運用に必要な情報を統合管理します。

HIS 連携

検査オーダー、患者情報、患者移動情報を受信し、検査目的やコメント、禁忌感染情報、入退院情報などを表示。また、受付、実施情報を送信し、会計通知を検査一覧で表示。

レポートシステム ProRad RS 連携

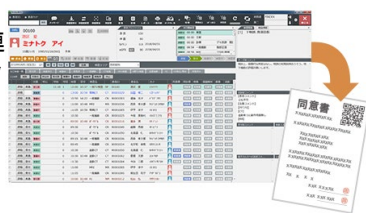
RIS から検査情報を送信し検査の運用に合わせたレポート枠を作成。撮影指示や読影完了通知は RIS で確認。



■スムーズな診療を実現する機能

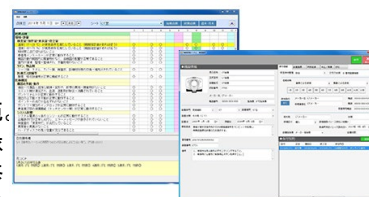
同意書連携

C-Scan/DocuMaker と連携し RIS からダイレクトに同意書を確認できます。スキャンした同意書の参照や記載、印刷も行えます。



機器管理

始業・終業点検では任意の項目を設定し漏れなく点検を実施。定期点検・修理登録では作業報告書や修理費用の登録が可能。



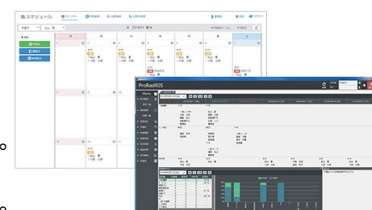
統計

ユーザーが出力項目や条件を設定し、検査種、部位、依頼科、撮影室別に統計帳票を出力できます。レイアウトのカスタマイズも可能。



グループウェア機能

技師の休暇や当直を一覧で確認したり、撮影室毎に担当者を確認したりできます。撮影室の点検日程や使用状況管理も可能。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

■データ交換規約

- ・DICOM (Ver3.0) / MWM SCP
- ・HL7/患者情報 (ADT) 検査情報 (ORM) スケジュール活動情報 (SCH) 詳細財務情報 (DFT)

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

■サーバ構成

シングルサーバ構成 (※必要に応じてウォームスタンバイ構成、クラスタ構成、仮想環境)

オペレーティングシステム：Windows Server 2019 Std

DBMS：Microsoft SQL Server 2019 Std

CPU：Intel® Xeon® Processor E3-1220 v5 (8M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上

メインメモリ：16GB 以上

HDD：1TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows10

CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上

メインメモリ：4GB 以上推奨

画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様、HIS メーカー様、及びモダリティメーカー様と打合せ (7~8 回程度) ・通常 4~7 か月程度

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

ソフトウェア・導入作業費用：7~8 桁

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

対応内容：稼働時初期教育 (オペレーション説明、マニュアル配布)、運用開始時立会い
障害発生時の電話サポート、リモート又はオンサイト対応、毎月のログ確認

前提条件：リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

株式会社ファインデックス

<https://findex.co.jp>

事業所：東京本社、四国支社、大阪支店、福岡支店、札幌支店、那覇支店、京都支店、新潟支店

※弊社 HP のお問合せフォーム (医療システム・サービス) をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html